

2. 実施体制

2.1 マネジメント体制

本取組では、校長直轄による現代GPワーキングが、企画・運営を行う。現代GPワーキングは、トライアル研究センター（地域共同テクノセンター）次長をワーキング長とし、各基盤学科より選出された1名以上の教員で構成される（平成19年4月現在で8名）。ワーキングメンバーから副ワーキング長を選出する。学外関係事項はワーキング長が調整を行い、学内関係事項は副ワーキング長が運営する。

2.2 教職員の体制

現代GPワーキングでの決定事項は、各学科主任に依頼し実施・運営を図る。特に、学内のシステムに関する重要決定事項は、総合企画会議にて決定する。

2.3 支援体制

ワーキングを直轄する校長が最終責任を持つ。学外の事務事項は総務課、学内の事務事項は総務係が対応。現代GPに関する事務事項は最終的に総務課長が掌握する。

2.4 学外との連携

津幡町との共同企画については、「津幡町と石川高等専門学校の連携に関する協議会」において最終決定される。各企画については、連携協議会に設置されている常置委員会にて検討される。なお事務関連事項については、津幡町企画財政課及び石川高専 企画・地域連携係で掌握する。

